



# 5月園だより

2022年5月  
尚徳福祉会  
沼袋西保育園  
園長

青々とした若葉の中を心地よい風が吹き抜ける爽やかな季節となりました。

入園、進級して1か月、子どもたちも少しずつ園に慣れ、生活のリズムをつかんで毎日生活できるようになり、新しいクラスでもお友だちや先生にも慣れ、楽しそうな声や笑い声が聞こえるようになってきました。

保育者や友だちとの関わりが楽しくなってきたこの時期、一人一人の興味を大切に、好きなあそびを十分に楽しめるよう環境を整えていきます。心が躍動するようのびのびとあそび、子どもの表現や気付きに保育者も共感していきたいと思えます。ゴールデンウィークはご家族で楽しい時間を過ごされているかと思えます。子ども達の話に耳を傾けながら、5月も楽しく過ごしていきたいと思えます。

## ☆5月の予定☆

- 10日(火) 避難訓練・幼児身体計測
- 11日(水) 乳児身体計測・3歳懇談会(ZOOM)
- 12日(木) 4歳懇談会(ZOOM)
- 13日(金) 5歳懇談会(ZOOM)
- 18日(水) 歯科健診(9:30~)
- 19日(木) 4歳遠足・0歳児健診
- 20日(金) 5歳遠足
- 27日(金) 環境学習
- 31日(火) 0歳児健診

※9日・30日の各月曜日、英語であそぼう  
(幼児組)

## ☆6月の主な予定☆

- 1日(水) 避難訓練
- 2日(木) 幼児身体計測
- 3日(金) 乳児身体計測
- 9日(木) 夏前健診(幼児)・0歳児健診
- 10日(金) サッカー指導(ゆり組)
- 16日(木) プラネタリウム(ゆり組)
- 23日(木) 夏前健診(乳児)・0歳児健診

※13日・27日の各月曜日、英語であそぼう  
(幼児組)



## ☆お知らせ・お願い☆

○ご家族でPCR検査を受けられる方がいる場合は園にお知らせくださいますようお願いいたします。

○感染拡大防止の観点から引き続き、玄関先でのアルコール消毒(大人)と、登園後すぐのお子さまの手洗いをお願いいたします。

○発熱や咳込み等が認められる場合は休んで様子を見てください。発熱後は熱が下がって24時間以上が経過し、呼吸器症状が無くなるまではご家庭で様子を見てください。集団で過ごす場ですのでご理解下さい。

○今後、園だより・クラスだより等でお子さんの個人名や職員名の掲載は控えさせていただきます。お誕生日のお知らせは各クラスの掲示をご覧いただき、お子さまの入園・退園につきましても各クラスの掲示でお知らせいたします。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

○転職や勤務時間等に変更がある場合はお知らせください。児童票、緊急連絡先の書き換えをお願いします。

○9時半までの登園をお願いいたします。お休みや受診等で遅れる場合も同様9時半までにご連絡をお願いいたします。

# 積極的な言葉かけを

主婦の友社 0~3才個性を伸ばす能力を育てる  
東京大学教授 汐見 稔幸

## 赤ちゃんは一生懸命聞いている

まだ小さいから言葉なんて理解できないだろうと思うのは大まちがい、小さくたって、やさしく言葉をかけてもらうことの快感はちゃんと感じています。やがて、言葉と実際の行動のつながりも理解できるようになってきます。「おなかすいたでしょ。はい、おっぱいね」「どうしたの、おっぱいかな」「おっぱい、おいしいね」…一日何回も耳にする「おっぱい」という音と、あたたかくておいしいものが同じものらしいとわかってきます。そして、自分でもなにかわけのわからない音声を発してみます。

「ぼくも(わたしも)まねしてみようかな。あれ、ぼくが言ってることママにわかったみたい」

赤ちゃんは、お母さんがやさしくほほえみ返してくれただけで、とてもうれしいのです。

## 「まなぶ」は「まねぶ」

これが学習の第一歩です。学習は模倣が出発点です。日本人でもフランス人に育てられればフランス語を話すようになるし、お母さんが箸を使ってみせれば子どもも自然と箸が使えるようになりますね。

「まなぶ」は「まねぶ」が語源だそうですが、赤ちゃんがまねしてみたいなと思える気持ちを育てることが、これからの学習意欲に大きな影響を与えます。これこそが能力開発です。

では、赤ちゃんはだれのまねでもするのでしょうか。

## 安心感を与えてくれる人のまねをする

赤ちゃんはどんな人のまねでもするわけではありません。安心感を与えてくれる人、楽しい雰囲気をつくってくれる人の模倣しかしないのです。人見知りをするような相手のまねはしません。だから心身ともに甘えられるような関係が親子の間でできていないと、模倣はうまくいきません。この関係を「アタッチメントの形成」とか「愛着関係の形成」といいます。

0才の時期に愛着関係をつくり出すのはそんなにむずかしいことではありません。泣いたらそばに行ってあげて、おっぱいを飲ませたり、あやしたり、歌を歌ってやったり、あるいはきげんのいいときにだっこしたり、「たかい たかい」をしてみたり、コチョコチョとくすぐってみたり、というような、愛情から発した行為を繰り返していくことが信頼感をつくり出します。こうして愛着関係が強まるのです。

赤ちゃんが模倣したくなる人のナンバー1は、たいていの場合お母さんです。

